

— 目 次 —

■「県基本構想」成る 8
 県政の理念
 県政運営の基本構想
 県民の生活と経済の展望

■県基本構想に寄せて
 相互信頼を再び勝ち取ろう
 木島安史... 6

■海外レポート 25
 <対談> 沢田知事・中国を訪ねる

■身体障害者に生き甲斐を 26
 熊本県身体障害者総合福祉施設整備

■高能率農業展開のために 28
 広域営農団地農道整備事業

■水銀汚染に正しい理解を 30
 水銀の3形態と魚介類の検査強化

■特別寄稿

阿蘇の花たち 佐藤達夫... 32

■<この人と30分>
 積極的に生きよ 河野清晃... 33

■熊本県の労働経済
 游仲 勲... 36

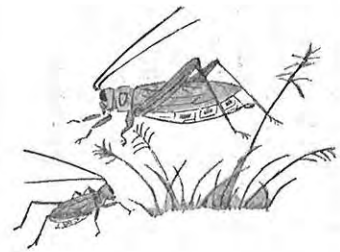
■グラビアページ

・<ふるさとの心> 本妙寺 3
 ・阿蘇で第15回自然公園大会開かる 17
 ・カラー熊本 20
 ・第13回全国農村青少年技術交換大会 22
 ・有明・八代海環境総合調査 37
 ・着々すすむ美しい熊本づくり 38

随 想 欄 6

長野吉章・吾和小石

表紙は玉名郡玉東町にある木葉猿



▲参拝者のなかには若人も多い



▶本妙寺本堂「浄池廟」



▶絶えない香煙

本 妙 寺

熊本の人々から「清正公さん」と呼ばれて親しまれてきた加藤清正は、父清忠が亡くなった時大阪に瑞竜院という寺を建立し、日真上人という高僧を迎えました。その後、肥後入国に際して熊本城内三の丸にこの寺を移しましたが、清正公の歿後二代目忠広のとき、この寺は城内から現在の中尾山に移されたのでした。これが現在の発星山本妙寺で、もともとは前述のように大阪にあったというわけ

です。
 清正公はまた産業を振興したり、土木治水の面に尽力したりして領国熊本をよく治め、住民の信頼が厚かったということです。

大きな山門を抜けて桜並木の続く長い参道を行くと、石灯笼の立ち並ぶ一名「胸つき雁木」と呼ばれる数百段の急峻な石段があります。これを登り切ったところに清正公を祀る朱塗りの浄池廟があり、その前には参拝者のたく香煙が日夜絶えず、法華の太鼓の音が鳴り響いています。七月二十三日の頓写会には毎年二十万余りの人々が参拝に訪れ深夜までにぎわうのです。

永き日や 太鼓打つ手のゆるむなり(漱石)